

# **中国圏広域地方計画の見直し概要 (案)**

平成27年2月26日

中国圏広域地方計画推進室

# 1. 中国圏広域地方計画の構成

## 1. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (1) 中国圏が有するポテンシャル

- ①地理的な優位性：  
二面活用、東アジアとの近接性
- ②豊かな自然環境：  
里山・里海
- ③多様な文化と歴史：  
出雲文化、たたら製鉄、厳島神社などの世界遺産
- ④ものづくり産業の集積：  
地方を牽引する基礎素材型産業の集積
- ⑤転入者増加の兆し：  
中国圏の都道府県が転入者増加の上位にランクイン

### (2) 現状と課題

- ①著しい人口減少と高齢化の進展  
山陰2県および山口県で人口減少が著しい。
- ②小規模集落の多い地域構造と中山間地域等問題  
小規模集落が全国で最も多く、山地・丘陵地に多くの居住地域が分布。
- ③圏域内の大きな格差  
圏域内の格差が進行中
- ④土砂災害など多発する大災害  
1km<sup>2</sup>当たりの土砂災害危険箇所は最も多く過去に多くの災害被害が発生。
- ⑤顕在化する社会インフラの老朽化  
高度経済成長期に整備された多くのインフラストックの老朽化が確実に進行。

## 2. 中国圏の将来像

### (1) 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏

- ・「コンパクト＋ネットワーク」の構築
- ・都市の機能強化と「連携中枢都市圏」などの形成
- ・国際交流や圏域内外の交流促進による圏域一体の発展

### (2) 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏

- ・グローバル産業や先端産業など圏域全体の産業競争力を強化
- ・多様な歴史・文化を活かした広域観光やインバウンド観光を振興

### (3) 大都市圏を惹きつける中山間地域や島嶼部を創造する中国圏

- ・地場産業振興、域内循環型経済の形成(雇用創出)
- ・「小さな拠点」の形成による必要な生活サービス機能の維持
- ・定住支援・受入環境整備等により、豊かさを求める大都市圏から人を惹きつける

### (4) 新たな災害ステージにも対応する安全・安心な中国圏

- ・防災対策や、自助・共助による防災地域づくりを推進
- ・南海トラフ巨大地震等における大都市圏や他圏域の支援を可能に
- ・インフラの計画的・効率的なメンテナンス

## 3. 圏域整備の基本戦略とプロジェクト(具体の事例)

### (1) 都市間ネットワークの強化と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

- ①基幹交通の整備によるネットワーク強化
- ②都市間の多様な連携の推進
- ③人口ダムとなる拠点都市整備とコンパクトシティの推進
- ④東アジアを始めとする国際交流の推進

### (2) ものづくり産業の競争力強化、観光振興など経済の活性化

- ①ものづくり産業の再構築・高度化による競争力強化
- ②臨海部産業支援のための国際物流機能の強化
- ③歴史・文化の情報発信と観光推進

### (3) 中小地方都市、中山間地域等における人口減対策など地域振興の推進

- ①地域資源を活かした地場産業の育成等による新たな雇用創出
- ②空き家活用など多様な転入支援策
- ③小さな拠点形成による生活サービス確保
- ④持続可能な交通ネットワークの構築
- ⑤里山・里海における農林水産業の再生

### (4) 土砂災害などの災害対策と強靱な圏域整備による安全・安心の推進

- ①他圏域のバックアップを含めた災害対策の推進
- ②インフラ老朽化対策の推進
- ③強くしなやかな圏域づくり

### (5) 環境と産業・生活が調和した地域づくり

- ①低炭素・循環型の地域づくり
- ②瀬戸内海などの豊かな自然環境の保全
- ③美しいまちなみ景観の保全整備

### (6) 将来の発展を担う人づくり

- ①中国圏ひとづくりプロジェクト
- ②女性活躍社会、高齢者参画社会の実現

## 4. 効率的な計画の推進

- (1)他圏域との連携
- (2)各主体の連携
- (3)モニタリング

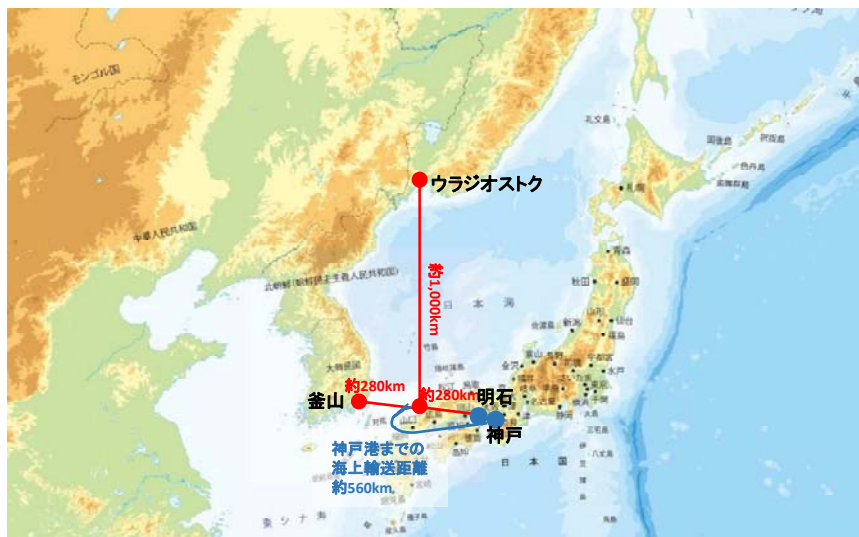
## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### 1) 中国圏が有するポテンシャル

#### (1) 地理的な優位性

- 東アジアとの近接性を活かした経済・文化交流を拡大させている。
- 近畿、九州、四国の3地域に隣接し、人流・物流の中継地として重要な地域である。

山陰地方と日本海の対岸諸国との距離



(出典：国土地理院HP)

地理的優位性を活かした東アジア等との経済・文化交流を拡大

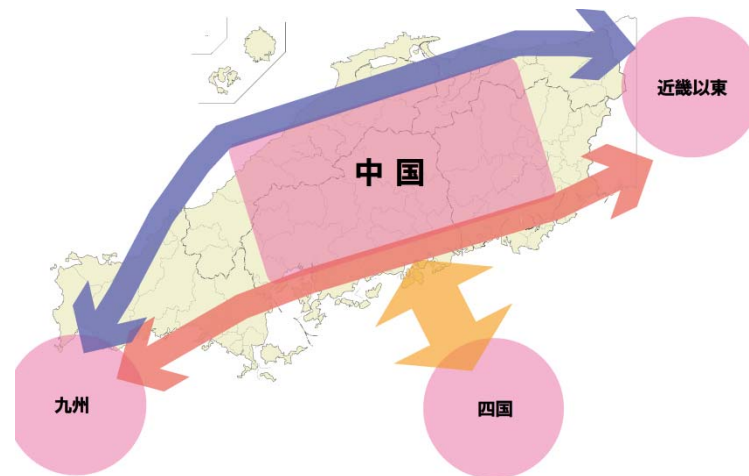
定期貨客船（境港-ウラジオストク）  
の就航



環日本海拠点都市会議  
における首長交流

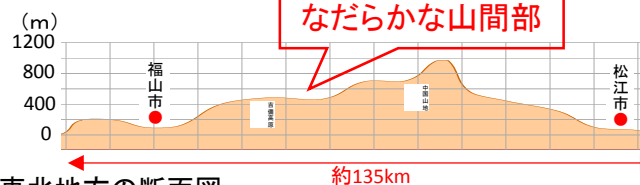


近畿、九州、四国の3地域に隣接



山陽と山陰が近接し、なだらかな山間部

中国地方の断面図



東北地方の断面図

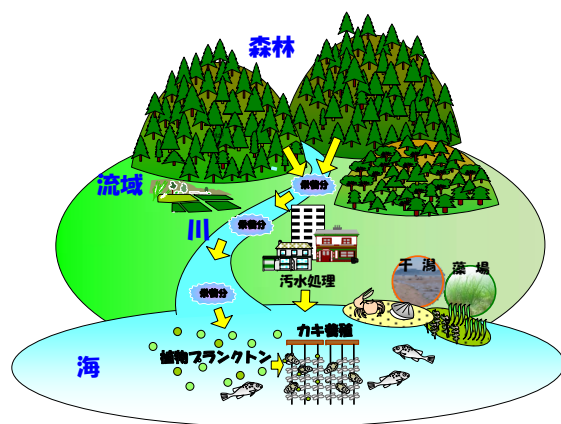


## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (2) 豊かな自然環境

- 日本海、中国山地、瀬戸内海という多様な自然に恵まれるとともに、人々の暮らしとの近接性から、自然との共存による暮らしの営みである「里山」や「里海」が多く存在する。
- 3つの国立公園を有し、山陰海岸と隠岐は世界ジオパークに登録されるとともに、4箇所がラムサール条約湿地に指定されるなど世界的に認められる自然環境を有している。

#### 多様な自然と豊かな里山・里海



#### 里山・里海とは

「人の手が加わることにより、生産性と生物多様性が高くなった山・海」

里山・里海とも、人の生活・生産活動の場であると同時に、多様な生きものの生息・生育空間ともなり、さらには地域固有の文化や景観も育むなど多様な価値を併せ持っている。

参考 (公財)おかやま環境ネットワーク「2013年度 市民のための環境講座」



植樹活動



清掃活動



国際里海ワークショップ

豊かな里山里海を保全するための取組

#### 2つの世界ジオパーク



山陰海岸



隠岐

※ジオパークとは、科学的に見て特に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を含む一種の自然公園のこと。

出典：山陰海岸ジオパーク推進会議HP、隠岐ジオパーク推進協議会HP

#### 3つの国立公園



山陰海岸



大山隠岐



瀬戸内海

出典：環境省HP

#### 4つのラムサール条約湿地



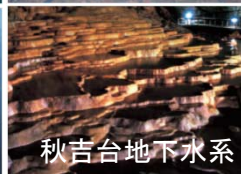
中海



宍道湖



宮島



秋吉台地下水系

※ラムサール条約湿地は、国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を促進することを目的として登録される。

出典：環境省HP



## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (3) 多様な文化と歴史

- 古くから、たたら製鉄により繁栄した地域であり、出雲や吉備において古代文化が栄えた。また、中世においては水軍の隆盛や朝鮮通信使、北前船の寄港地となるなど、交通の要衝として瀬戸内海各地に文化や経済活動が育まれ、重要伝統的建造物群保存地区等の歴史的建造物や街並みが残る。
- 原爆ドーム、厳島神社、石見銀山遺跡の3つの世界遺産や、石州半紙、佐陀神能(ユネスコ無形文化遺産)等、中国圏らしい歴史と文化が数多く存在する。

石州半紙 (石見地方)



石見銀山 (大田市)



出雲文化 (出雲市)



佐陀神能 (松江市)



三徳山三佛寺 (鳥取県三朝町) たたら製鉄 (中国山地)



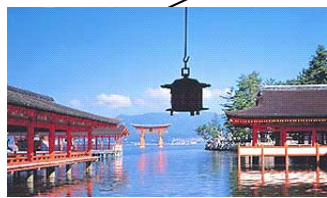
壬生の花田植 (北広島町)



重要伝統的建造物群保存地区 (萩市) 出典: 山口市HP



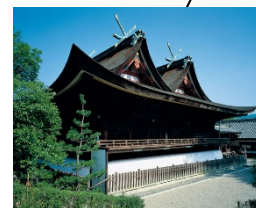
大内文化 (山口市) 出典: 山口市HP



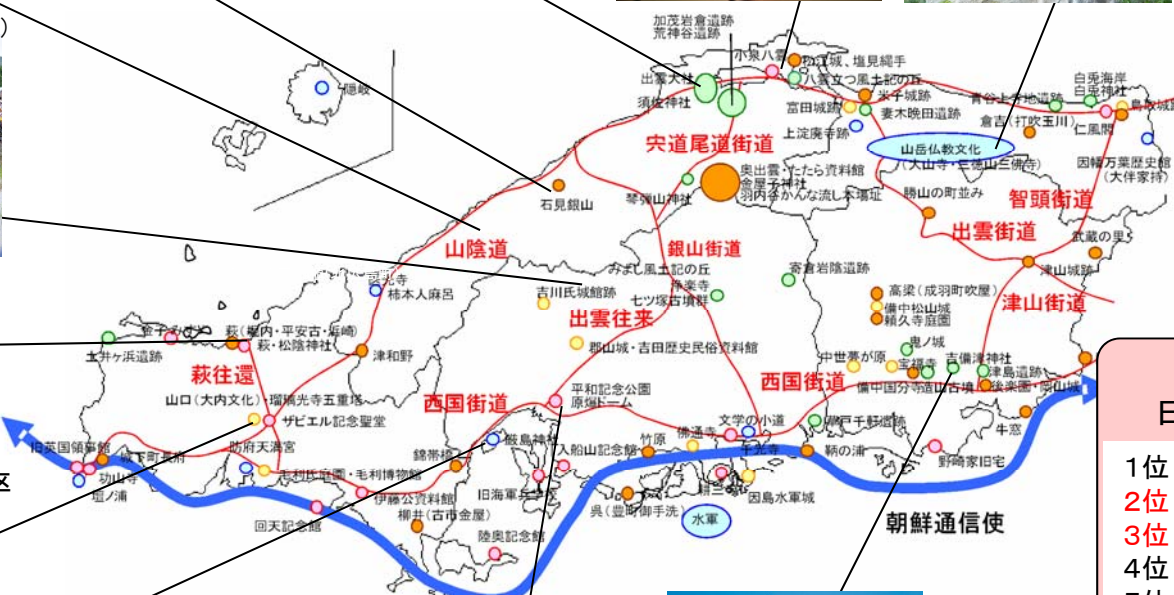
厳島神社 (廿日市市)



原爆ドーム (広島市)



吉備文化 (岡山市) 出典: 岡山県HP



- 神話～古墳時代
- 奈良・平安～源平合戦
- 鎌倉・室町～戦国時代
- 江戸時代
- 江戸時代末期～現代

#### 外国人に人気の日本の観光スポット 2014

- 1位 京都 伏見稲荷神社
- 2位 広島 広島平和記念資料館
- 3位 広島 厳島神社
- 4位 京都 金閣寺
- 5位 奈良 東大寺

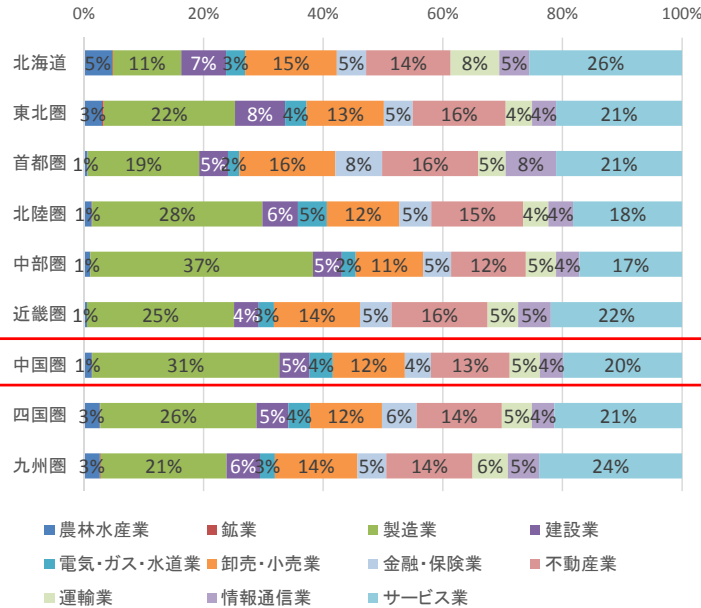
※出典: トリップアドバイザーHP  
 ※トリップアドバイザー上の日本の観光スポットに投稿された日本語以外の口コミを、星評価(5段階)の平均、投稿数などをもとに、独自のアルゴリズムで集計  
 ※トリップアドバイザーとはアメリカをはじめとして、世界45カ国で利用される旅行ウェブサイトで、2014年12月には、口コミ情報数が2億件を超える

## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

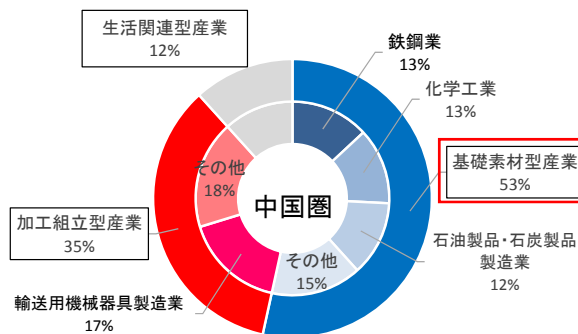
### (4) ものづくり産業の集積

- 産業構成からは、製造業の集積は中部圏に次いで高く、基礎素材型産業のウエイトが大きいなど、ものづくり産業の集積に強みを持っており、オンリーワン・ナンバーワン企業が瀬戸内海を中心に存在する。
- 従業員一人当たりの製造品出荷額は、近年、中国圏が全国1位で推移している。

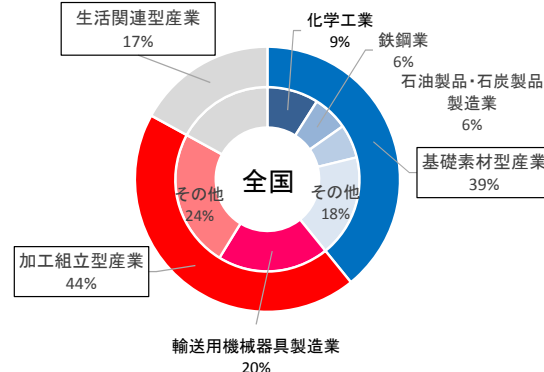
県民総生産における主産業の構成比



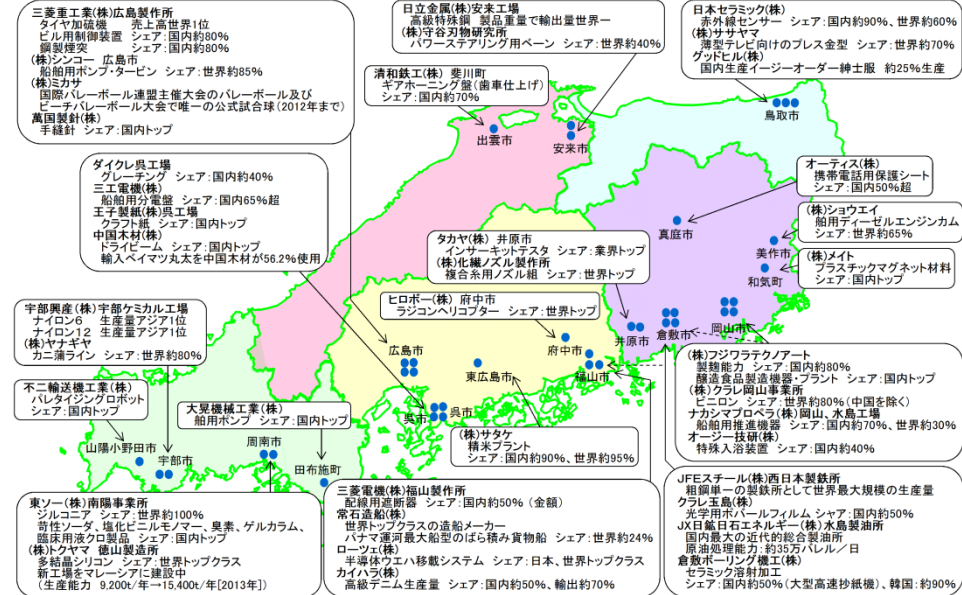
※出典：県民経済計算 平成23年度版(内閣府)  
製造品出荷額構成比



※出典：平成24年 工業統計調査 (経済産業省)

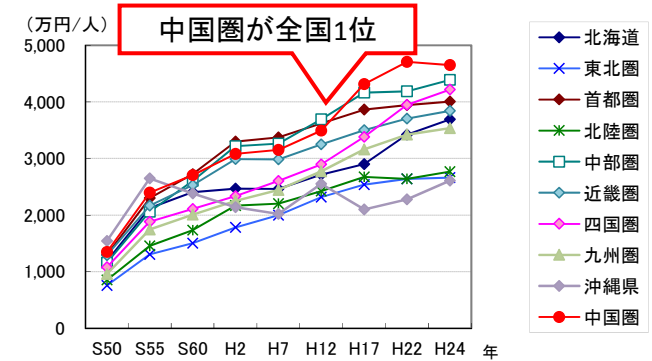


中国圏のオンリーワン・ナンバーワン企業



※出典：明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社(中国経済産業局)等より中国地方整備局作成

従業員一人当たりの製造品出荷額等の推移



※出典：工業統計調査 (経済産業省)



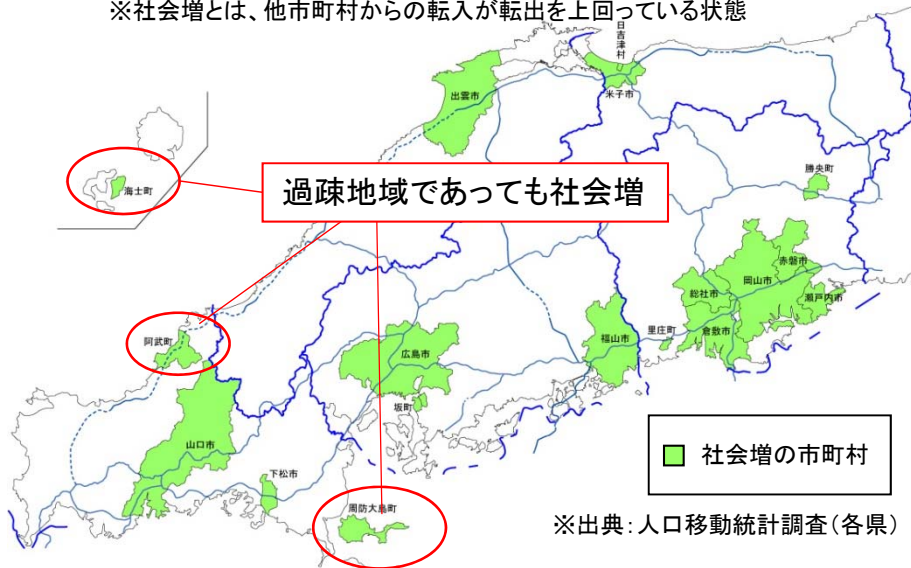
## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (5) 転入者増加の兆し

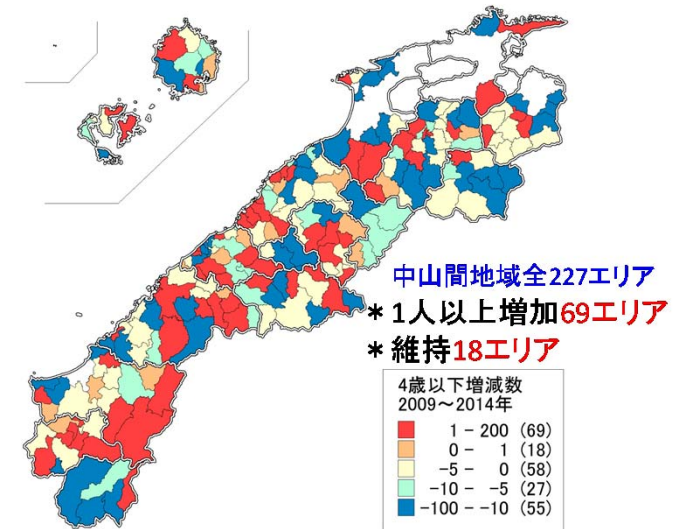
○定住施策の推進などにより、全域が過疎地域であっても、近年、社会増となっている市町村が存在しており、中国圏は他県圏域からの転入者の受入可能性を持っている。

近年、社会増となっている市町村(H21-H25累計)

※社会増とは、他市町村からの転入が転出を上回っている状態



島根県における4歳以下の子供増減数(H21-H26)



※出典：島根県中山間地域研究センター(山陰中央新報で紹介(15/1/26))

※住民基本台帳による日本国籍を有する住民を対象として比較

移住者数のランキング2013

都道府県	13年度 移住者数	全国 順位
鳥取県	962	1
岡山県	714	2
岐阜県	596	3
島根県	575	4
長野県	510	5
⋮	⋮	⋮
広島県	95	22
山口県	85	23

※出典：田舎暮らし実態調査(2013年度)  
※市町村へのアンケート調査

ふるさと暮らし希望地域ランキング2014

順位	県名
1位	山梨県
2位	長野県
3位	岡山県
4位	福島県
5位	新潟県
6位	熊本県
7位	静岡県
8位	島根県
9位	富山県
10位	香川県

※出典：ふるさと回帰支援センター(2014年度)  
※ふるさと暮らし情報センター(東京) 利用者へのアンケート調査

### ■住みたい田舎ランキング (民間調査)

- 1位: 大田市(島根県)
- 2位: 鳥取市(鳥取県)
- 3位: 豊後高田市(大分県)
- 4位: 薩摩川内市(鹿児島県)
- 5位: 武雄市(佐賀県)

※市町村アンケートによる(全国295市町村)



※出典(株)宝島社HP  
H26年度調査

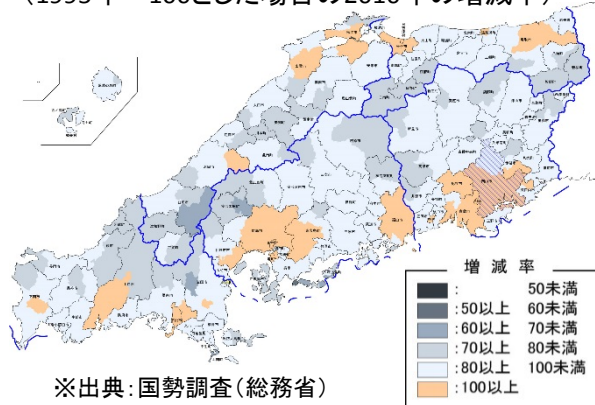
## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### 2) 中国圏の現状と課題

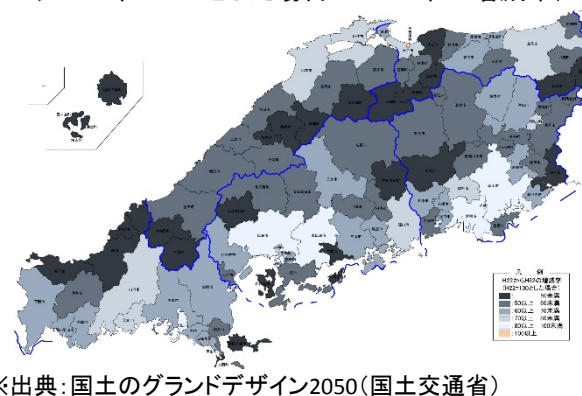
#### (1) 著しい人口の減少と高齢化の進展

- 中国圏の人口は1995年(H7)をピークに減少に転じており、1995-2010年の人口減少は鳥取県・島根県・山口県で著しい状況。また、都市規模の小さい市町村ほど人口減少が進展している。
- 2050年(H62年)に、1万人未満の都市の増減率が50未満となる市町村は、24市町村ある。

【現況】人口増減率(旧市町村別)  
(1995年=100とした場合の2010年の増減率)



【将来推計】人口増減率(市町村別)  
(2010年=100とした場合の2050年の増減率)



【将来】圏域別人口推移

	H7=100とした場合の推移		H22=100とした場合の推移	
	H62		H62	
	指数	順位	指数	順位
東北圏	60.8	10	64.0	10
四国圏	61.7	9	64.9	9
北海道	63.9	8	66.0	8
北陸圏	70.0	6	71.4	7
中国圏	69.7	7	71.6	6
九州圏	71.9	5	73.1	5
近畿圏	76.7	4	75.6	4
中部圏	80.4	3	78.0	3
首都圏	87.9	2	81.7	2
沖縄県	102.4	1	93.6	1
全国	82.9	-	75.8	-

【将来】中国5県別人口推移

	H7=100とした場合の推移		H22=100とした場合の推移	
	H62		H62	
	指数	全国順位	指数	全国順位
島根県	58.9	40	63.4	39
山口県	60.3	37	64.7	37
鳥取県	62.8	35	65.6	36
岡山県	75.2	14	75.5	15
広島県	75.4	13	75.9	11

※出典: 国勢調査(総務省)  
国土のグランドデザイン2050(国土交通省)

都市規模別の人口増減率(中国地方)  
(H22=100とした場合のH62の増減率)

	H22=100とした場合の増減率 H62
政令指定都市(2)	87
30万人以上(2)	80
10~30万人(16)	69
5~10万人(12)	63
1~5万人(51)	57
1万人未満(24)	46

※H22年の人口により都市規模別を区分・集計し、H22年を100とする比率を示す。  
※( )内は市町村数を示す。

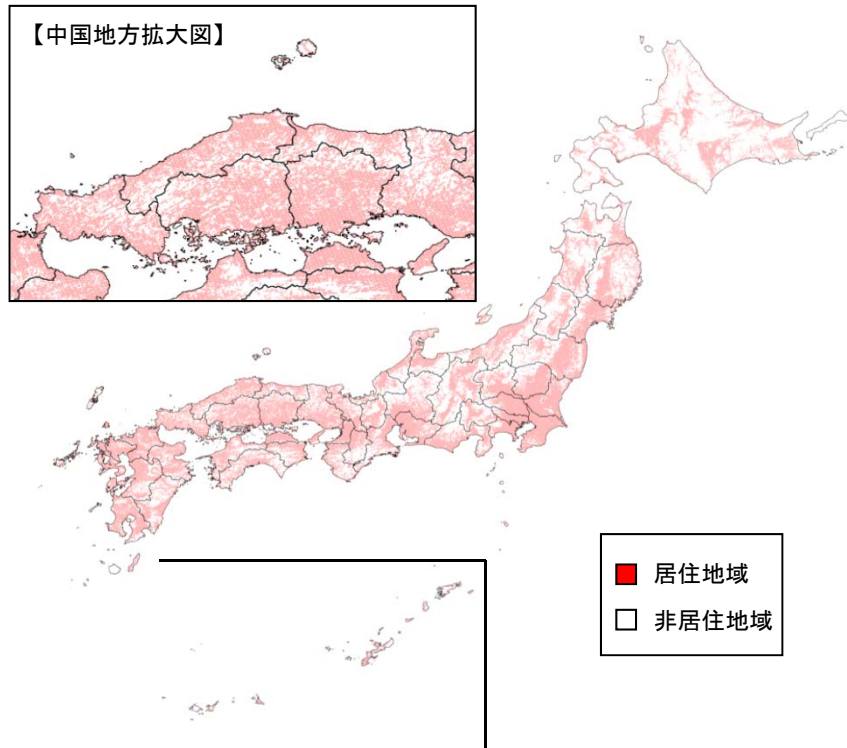
※出典: 国土のグランドデザイン2050(国土交通省)



## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (2) 小規模集落の多い地域構造と中山間地域等問題

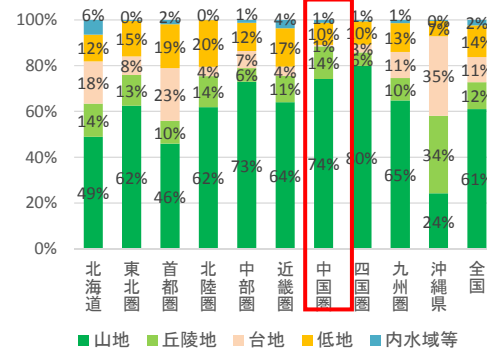
- 総面積に占める山地・丘陵地の割合は88%で全国で最も高いが、居住地域の割合は64%で首都圏に次いで高く、山間部まで居住地域が広く分布。
- 過疎地域関連市町村数は全市町村数の74%を占め、過疎地域における世帯数20世帯未満の小規模集落数は、全国でも最も多い。



※出典：国勢調査(H22年度)(総務省)

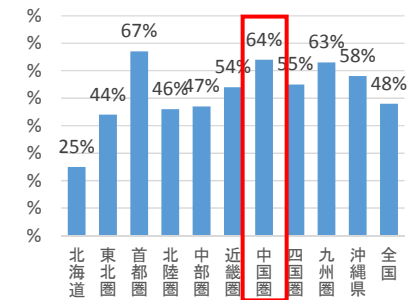
※国勢調査(H22)の1km<sup>2</sup>メッシュデータのうち居住者ありのメッシュデータを着色

地形の特徴



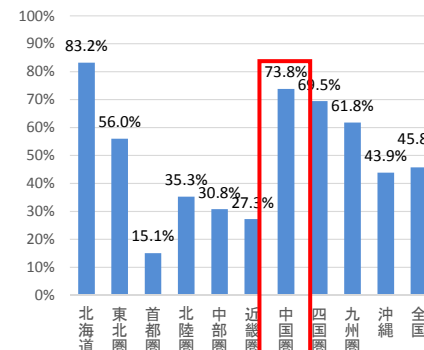
※出典：国土統計要覧(国土交通省)

総面積に占める居住地域の割合



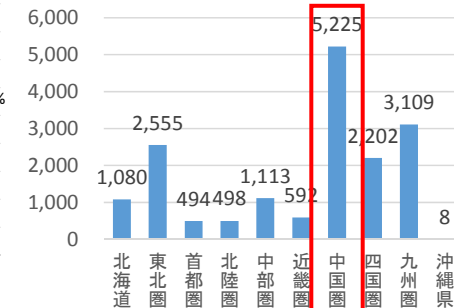
※出典：国土のグランドデザイン2050  
人口関係参考資料(国土交通省)

過疎地域自立促進特別措置法における  
過疎関連市町村数の割合



※出典：総務省HP

世帯数20世帯未満の小規模集落数

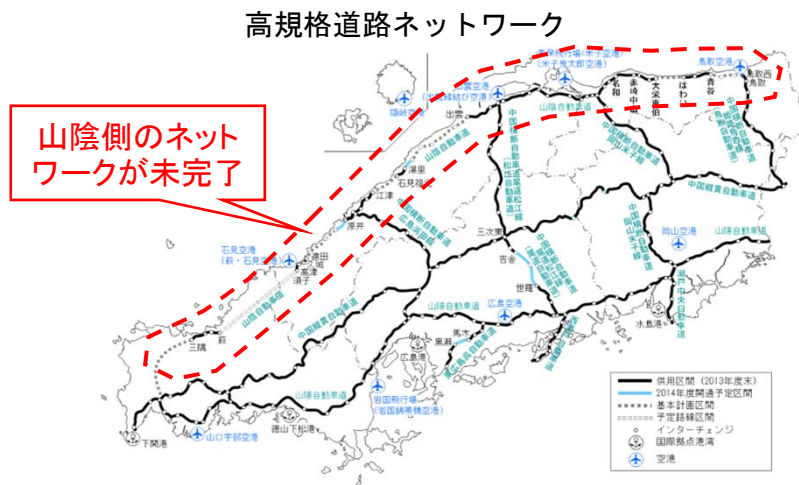
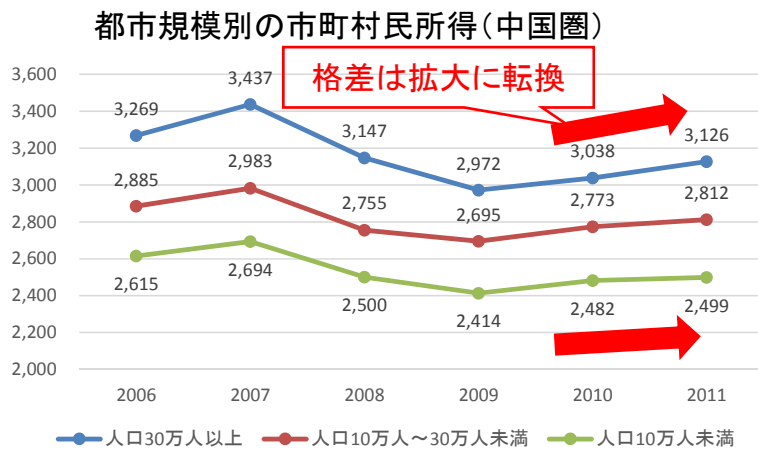
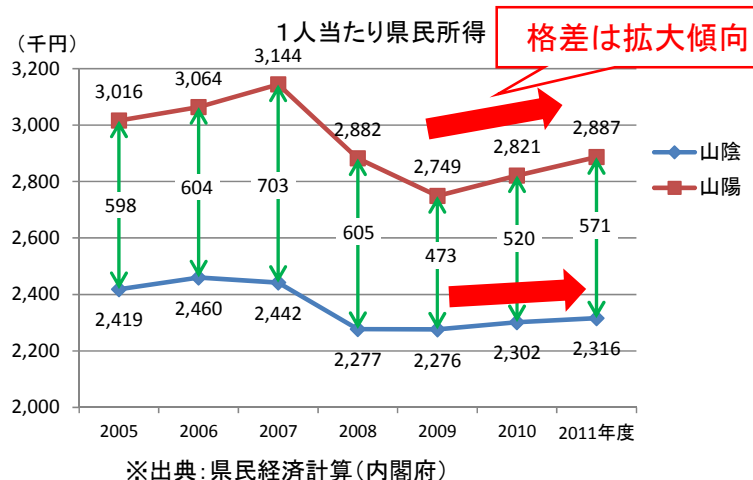


※出典：過疎地域等における集落の状況に関する  
現状把握調査H23.3(総務省)

## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (3) 圏域内での大きな格差

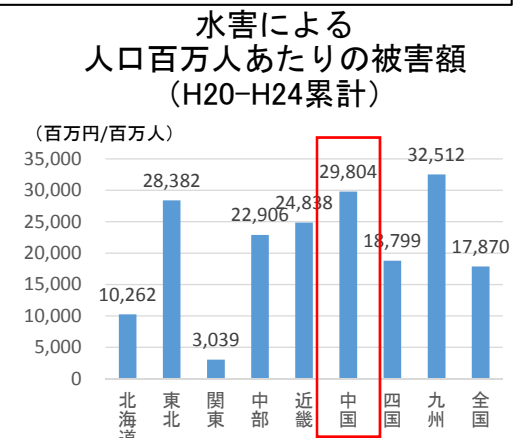
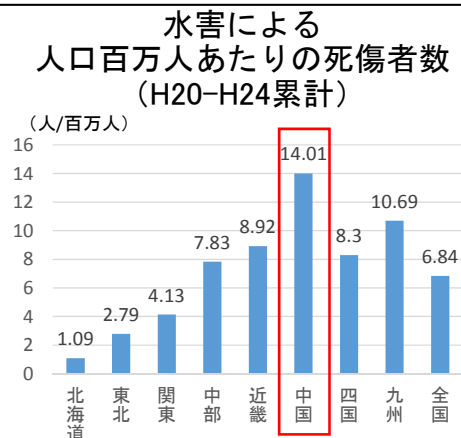
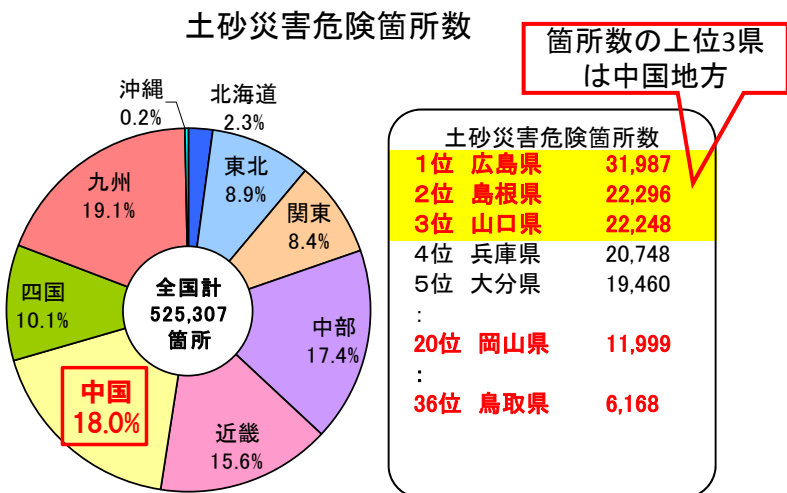
- 山陰及び山陽間の県民所得格差は、2009年のリーマンショック以降再び拡大傾向となっている。また、人流・物流を支える高規格幹線道路は、山陰側においてネットワークするまでに至っていない。
- 市町村民所得は人口規模により格差が生じている。また、近年縮小傾向だった格差はH22からH23にかけて拡大に転換した。



## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (4) 土砂災害など多発する大災害

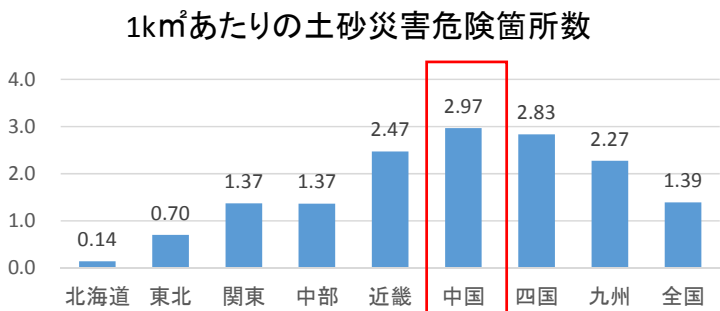
- 全国の土砂災害危険箇所数の18%を占め、1km<sup>2</sup>あたりの土砂災害危険箇所数は全国で最も多く、個所数の全国上位3県を中国圏が占める。
- 過去5年間の人口百万人あたりの死傷者数は全国で最も多いなど、災害に対して脆弱である。



※出典: 水害統計(国土交通省)、国勢調査(総務省)

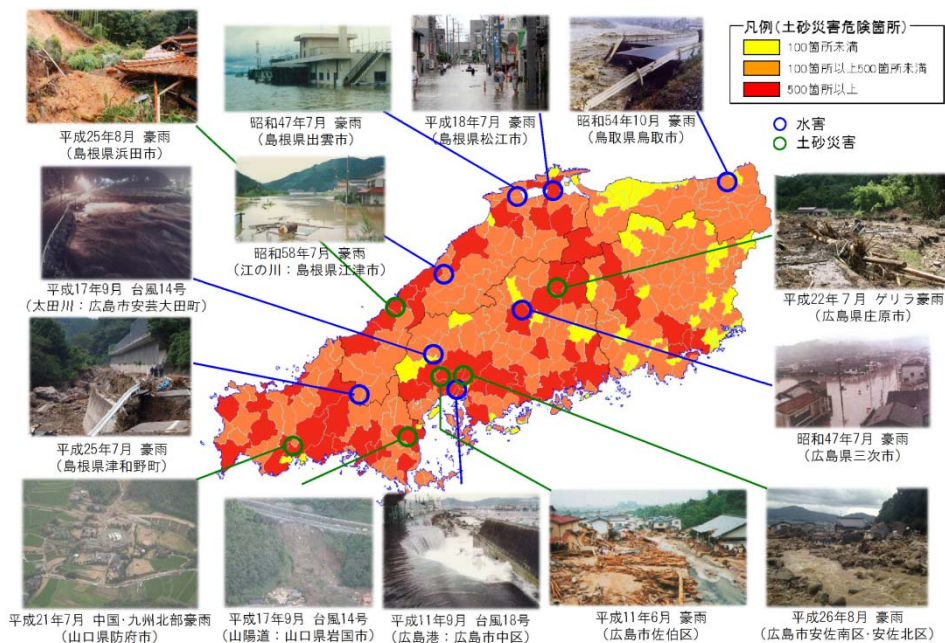
※土砂災害危険箇所とは、土石流危険渓流等、急傾斜地崩壊危険箇所等、地すべり危険箇所の合計値  
 ※土石流危険渓流等、急傾斜地崩壊危険箇所等は、H14公表値  
 ※地すべり危険箇所は、H10公表値

※出典: 都道府県別土砂災害危険箇所 (国土交通省)



※出典: 都道府県別土砂災害危険箇所 (国土交通省) 国勢調査H22 (総務省)

### 過去の主な土砂災害・水害





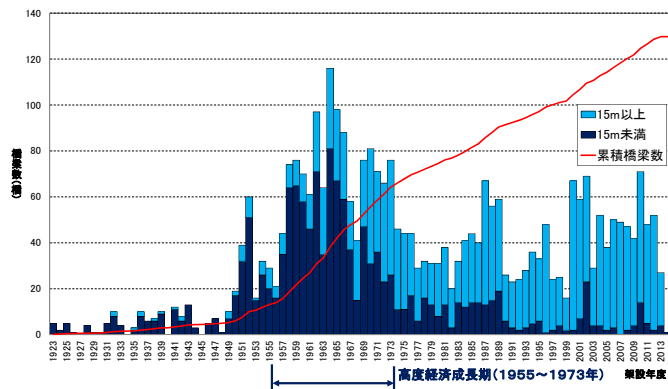
## 2. 中国圏のポテンシャル及び現状と課題

### (5) 顕在化する社会インフラの老朽化

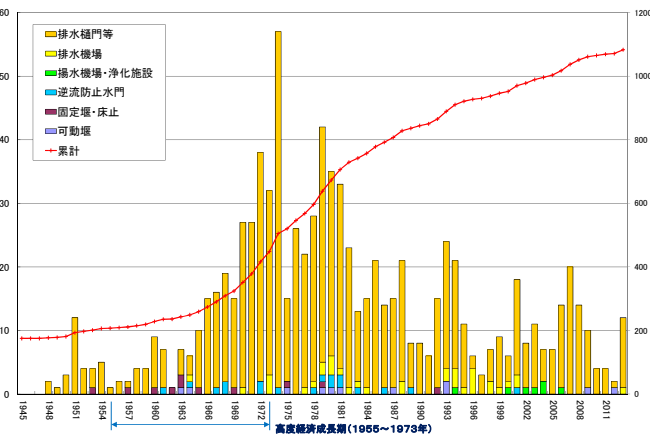
○社会インフラは、高度経済成長期に集中的に整備。ストックの老朽化が確実に進行したため、計画的かつ効率的なメンテナンスが必須。

#### 中国圏における社会インフラのストック数の推移 (H25年度時点)

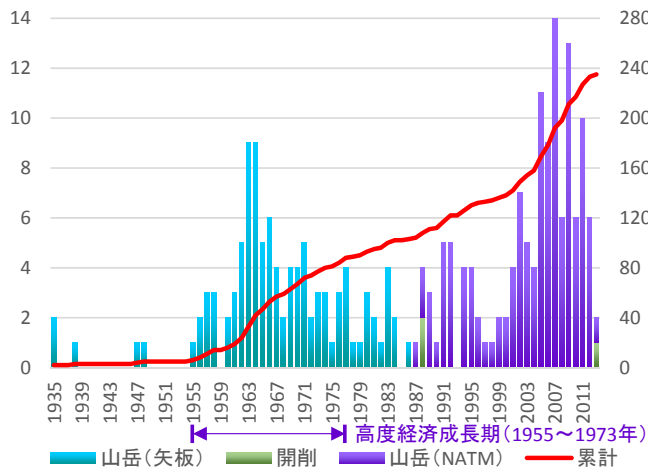
橋梁 (中国地方整備局管理) (N=2,815)



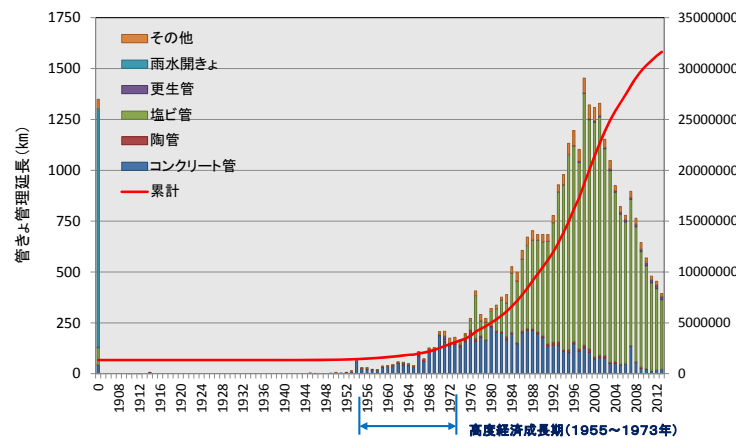
河川管理施設 (中国地方整備局管理) (N=1,083)



トンネル (中国地方整備局管理) (N=225)



下水道管渠延長 (L=約31,600km)



#### 社会インフラの高齢化による損傷事例



経年劣化及び中性化による主桁コンクリートの剥離及び鉄筋露出 (国道2号 山王橋)



鋼製支承の損傷 (国道29号 須澄橋)

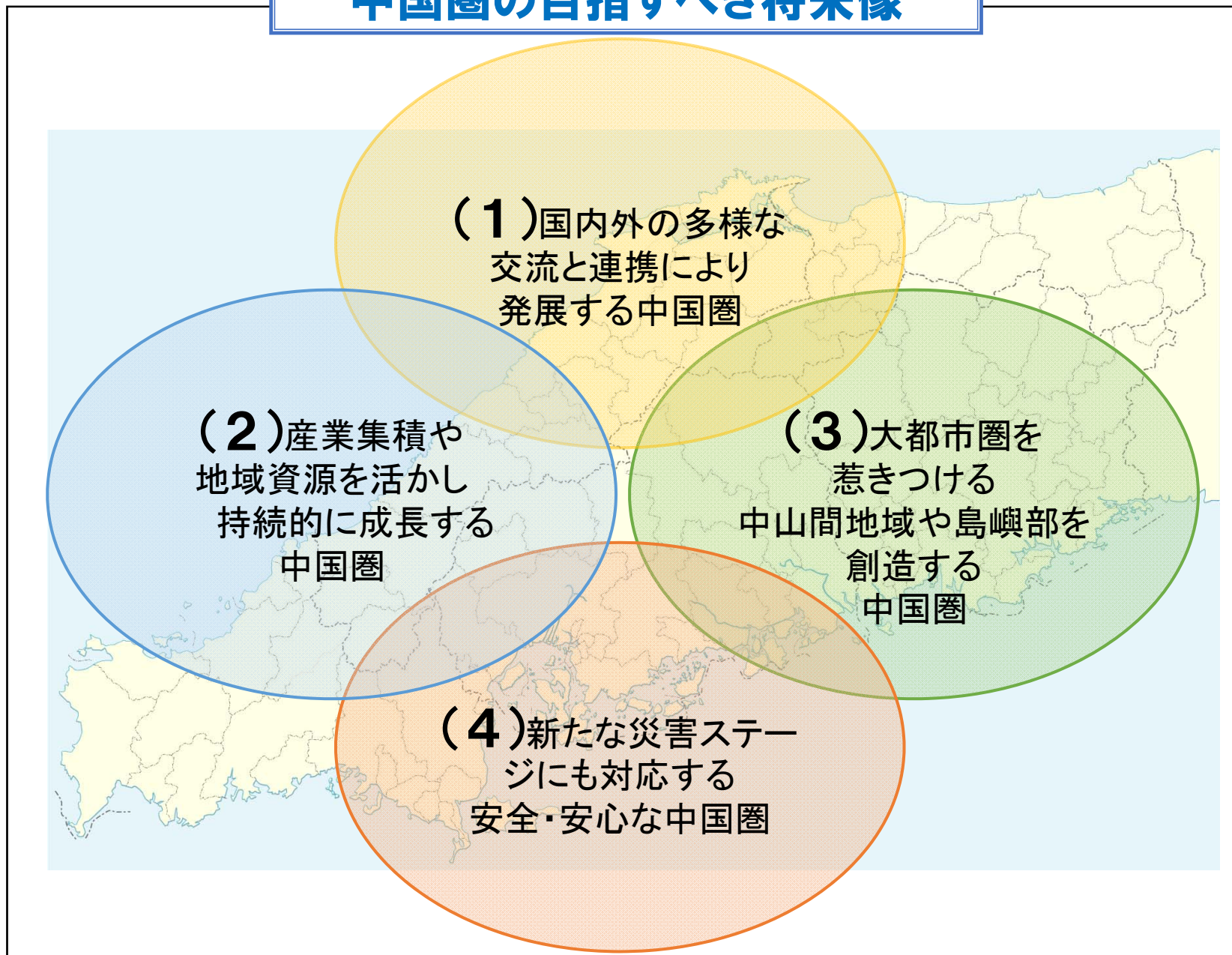
出典：第3回中国地方における大規模地震に対する検討委員会資料 (H23年度)



老朽化した下水道管渠腐食に起因する道路陥没状況 (広島市中区舟入南) 出典：広島市

※出典中国地方整備局調べ

## 中国圏の目指すべき将来像

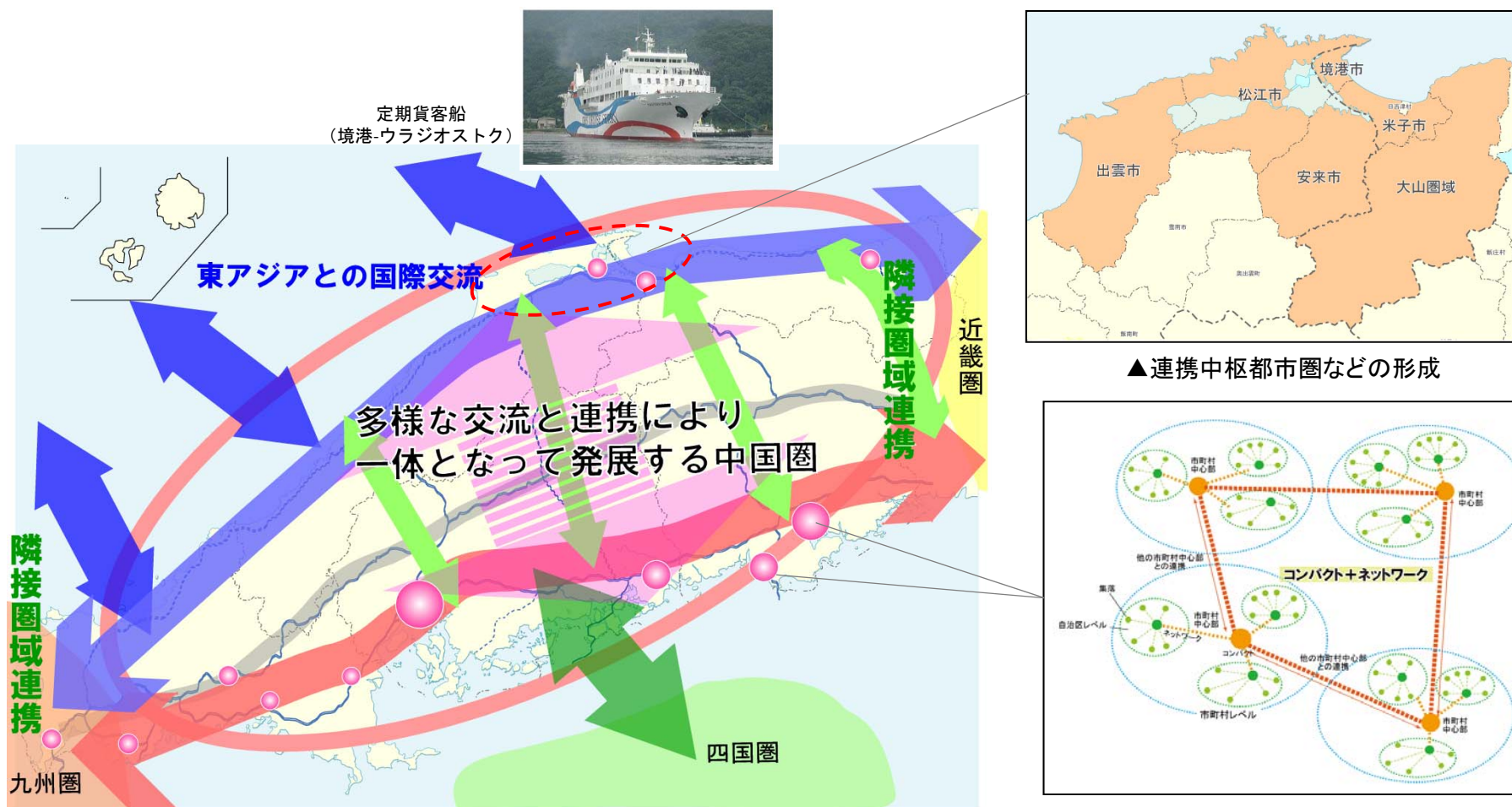




### 3. 中国圏の将来像

#### (1) 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏

- 重層的かつ強靱な「コンパクト+ネットワーク」を構築することにより、対流促進型の圏域を実現する。
- 連携により高次の都市機能の享受を可能とする「連携中枢都市圏」などを形成し、圏域の都市機能や魅力を高め、大都市圏への人口流出防止にとどまらず、大都市圏から人口・産業等呼び込む。
- 空港・港湾をゲートウェイとして、東アジアとの交流をはじめ、国際平和・国際医療支援等の中国圏の強みを活かした国際貢献などの国際交流を活発に展開する。
- 国際交流、隣接圏域との交流、圏域内の交流が重層的に行われ、産業・文化・観光のイノベーションや新しい価値創造が育まれ、中国圏が一体となって発展する。

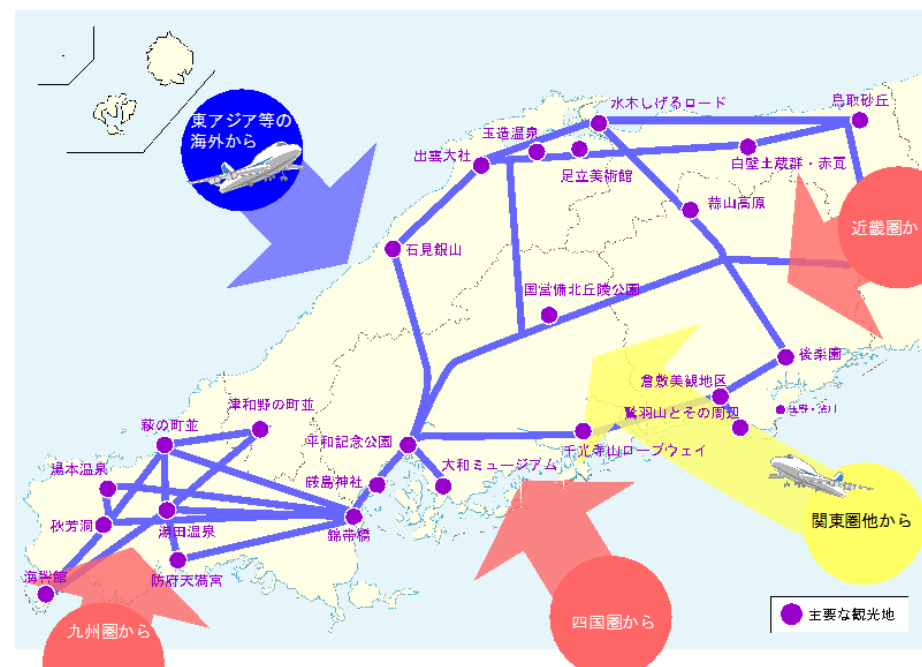
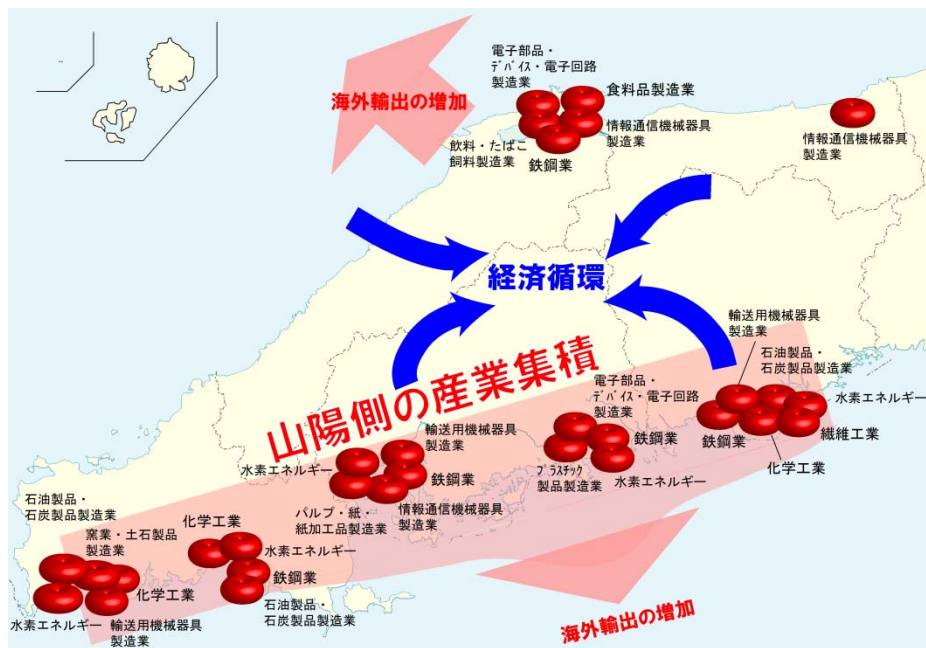




### 3. 中国圏の将来像

#### (2) 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏

- ・ 瀬戸内に集積するものづくり産業の技術力を活用した基幹産業の国際競争力強化や、日本海地域のグローバルな産業振興が促進、またその環境整備を図るとともに、先端産業振興や起業創出、サービス産業の生産性向上等により、圏域全体の産業競争力を強化する。
- ・ 日本海、中国山地、瀬戸内海など豊かな自然や世界遺産をはじめとする多様な歴史・文化を活かして、広域観光やインバウンド観光を振興する

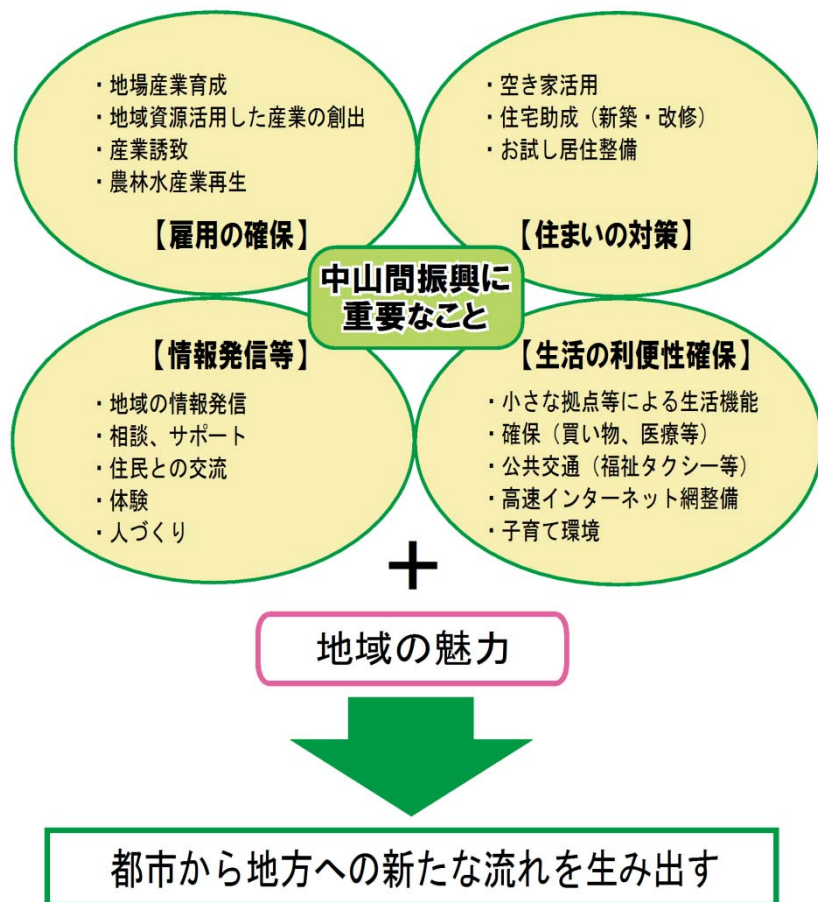


※青色の線は、主な広域観光ルート为例

### 3. 中国圏の将来像

#### (3) 大都市圏を惹きつける中山間地域や島嶼部を創造する中国圏

- ・ 中国山地や島々では、地域資源を活用した地場産業の振興、また観光産業や6次産業化など農林水産業の振興などにより、域内循環型経済の形成や雇用を創出する。
- ・ 医療・福祉、商業、公的サービスなどの機能を集約した「小さな拠点」を形成し、必要な生活サービス機能を維持するとともに、交流促進により生き生きとしたコミュニティを形成する。
- ・ さらに、空き家活用等や各種定住支援などのサポートや迎え入れる人材の育成などにより、暮らしの豊かさを求める大都市圏からの人の流れを生み出すとともに、中山間地域や島嶼部での新しい価値を創造する。



※小さな拠点とは  
集落地域の人や資源、地域活動をつなぎ、暮らしの安心と未来の希望を育む拠点のこと。

#### ▲小さな拠点形成のイメージ

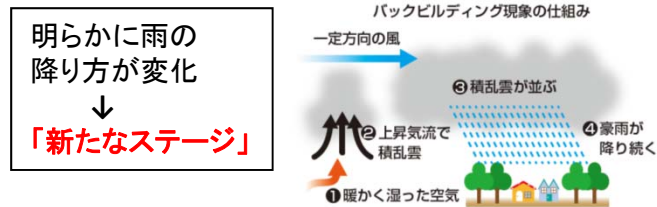


▲循環型経済のイメージ(真庭バイオマス産業都市構想)  
※出典:中国四国農政局

### 3. 中国圏の将来像

#### (4) 新たな災害ステージにも対応する安全・安心な中国圏

- 土砂災害対策をはじめとする防災対策や、自助・共助による防災地域づくりを進め、新たな災害ステージに対して安心して暮らせる圏域をつくる。
- 南海トラフ巨大地震や首都直下地震等の大震災時に、圏域内だけでなく大都市圏や他圏域の支援を行える圏域になる。
- 老朽化したインフラの計画的・効率的なメンテナンスによる安全確保とトータルコストの縮減・平準化の両立を図る。



#### 新たなステージに対応した防災・減災のあり方

- 災害に対する脆弱性
- 最悪の事態の想定

命を守る

社会経済の壊滅的な被害を回避する

#### 【目指す方向】

- 「行動指南型」の避難勧告に加え、「状況情報」の提供による主体的避難の促進、広域避難体制の整備等
- 最悪の事態を想定・共有し、国、地方公共団体、公益事業者、企業等が主体的かつ、連携して対応する体制の整備



▲災害に強いまちづくりのイメージ

#### 中国・四国圏の災害発生時の広域支援に関する協定締結グループ

グループ1	鳥取県・徳島県
グループ2	岡山県・香川県
グループ3	広島県・愛媛県
グループ4	島根県・山口県・高知県



#### ▲大規模災害時の他圏域のバックアップのイメージ



災害時には、平時に構築された瀬戸内・海の路ネットワークを活かして相互に応援を行う



## 4. 圏域整備の基本戦略とプロジェクト

### 基本戦略（1）都市間ネットワークの強化と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

都市部への人口流出のダムの役割を果たすため、拠点都市整備や「コンパクト+ネットワーク」による都市の機能向上を図るとともに、都市間の多様な連携を促進するなど、対流促進型の圏域づくりを進める。

- ① 基幹交通の整備によるネットワーク強化
- ② 都市間の多様な連携の推進
- ③ 人口ダムとなる拠点都市整備とコンパクトシティの推進
- ④ 東アジアを始めとする国際交流の推進

#### ◆高規格幹線道路網の整備

##### ●山陰自動車道

山陰自動車道は、鳥取県鳥取市から鳥根県を経由し山口県美祢市までの延長約380kmの高規格幹線道路。

鳥取・島根・山口3県の主要都市を東西に結び、各地域間の交流・連携を強化するとともに、山陰地方の産業経済の発展や観光振興、沿線住民の生活を支える安心・安全な道路として、広域的な循環ネットワークの形成を図る。

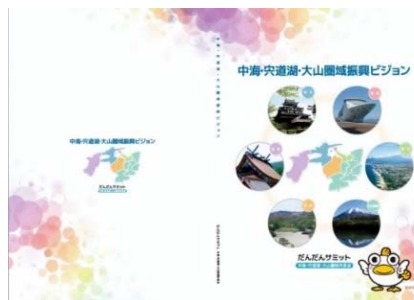


出典：中国地方整備局

#### ◆中海・宍道湖・大山圏域連携による中枢都市圏形成

圏域の総合的・一体的な発展の推進を図る取組み。

- 中海・宍道湖・大山圏域市長会「だんだんサミット」設立
  - ・平成25年3月中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン策定
- 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会
  - 圏域の市・商工会議所等の広域連携による圏域経済の活性化を図る取組み。製造業等の産業振興に資する事業を実施する。



中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン



ビジネスマッチング商談会・交流会

出典：中海・宍道湖・大山圏域市長会HP

#### ◆広島市 市街地再開発

広域交通ターミナルである広島駅周辺地区は、老朽家屋の密集や大規模な未利用地が存在する地区であり、効率的な土地利用がなされていない状況にあった。このため、当地区を紙屋町・八丁堀地区と並ぶ本市の都心の東の核に位置づけ、広島陸の玄関にふさわしい「まち」への再生に向けた再開発や交通ネットワークの充実が進められている。



広島駅周辺整備

出典：広島市

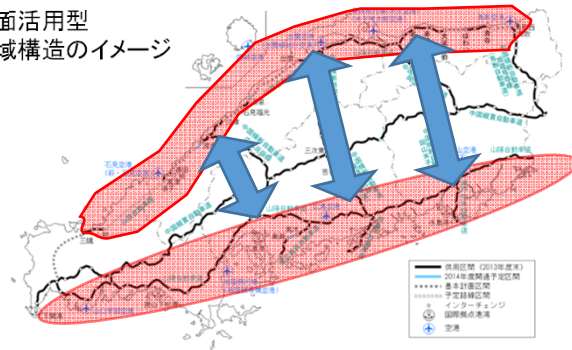
## 4. 圏域整備の基本戦略とプロジェクト

### 基本戦略（2）ものづくり産業の競争力強化、観光振興など経済の活性化

瀬戸内海側に集積するものづくり産業の国際競争力の強化や、日本海側における環日本海経済交流の振興を図るとともに、多様な歴史・文化を活かした広域観光振興と国際交流など、日本海と瀬戸内の二面活用により発展する圏域づくりを進める。

- ①ものづくり産業の再構築・高度化による競争力強化
- ②臨海部産業支援のための国際物流機能の強化
- ③歴史・文化の情報発信と観光推進

二面活用型  
地域構造のイメージ



#### ◆ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区

アジア有数の競争力を持つ「モデルコンビナート」を実現し、岡山県の持続的な成長と良質な雇用の確保を図る。

- ①高度な企業間連携による高効率・省資源型コンビナートの構築
- ②水島港のポテンシャルを最大限発揮させる物流機能の強化
- ③今後のコンビナートの持続的発展に繋がる成長産業の国内重要製造拠点(マザー工場)化



水島石油コンビナート

出典:岡山県HP



図:高効率・省資源型コンビナートの構築

出典:内閣府 地方創生推進室HP

#### ◆松江市「Ruby City MATSUEプロジェクト」

2006年、行政機関、民間企業、教育機関が連携しながら、オープンソースのプログラミング言語Rubyを軸とした地域活性化のため発足。平成24年度地域づくり総務大臣表彰で地方自治体表彰に選出。

- OSS(オープンソースサロン)と「Ruby」をテーマとした、「Rubyの街」としての新たな地域ブランドの創生・松江オープンソースラボ
- 学生向けのRuby人材育成から取組み、産学官の連携により質の高いRuby人材育成環境を提供・中学生Ruby教室・Rubyプログラミング講座・松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト
- IT産業の振興施策と企業立地の推進により、育成した人材の雇用の場を確保

出典:松江市HP、  
RubyアソシエーションHP



松江オープンソースラボ

#### ◆瀬戸内しまのわ2014～はじまる新しいしま博「島へようこそ！」～

広島県・愛媛県の島しょ部および臨海部において、県域、市町域を越えた海でつながった広域のネットワークを構築し、地域住民が主体の観光プログラムの創出などにより豊かな地域づくりを推進するプロジェクト・公益財団法人日本デザイン振興会主催:グッドデザイン賞「地域づくりデザイン賞」を受賞。



ポスター

出典:広島県HP 瀬戸内しま博覧会「瀬戸内しまのわ2014」実行委員会 実施計画・公式facebookより



ロゴ・シンボルマーク



## 4. 圏域整備の基本戦略とプロジェクト

### 基本戦略（3）中小地方都市、中山間地域等における人口減対策など地域振興の推進

地域資源を活かした新たな産業振興や農林水産業の再生などにより、地域での雇用創出と経済循環を促進するとともに、「小さな拠点」の形成による生活サービスや交通などの機能の確保や多様な転入支援策による都市部からの移住・定住の促進など、人口減少社会でのフロンティアとなる取り組みを進める。

- ① 地域資源を活かした地場産業の育成等による新たな雇用創出
- ② 空き家活用など多様な転入支援策
- ③ 小さな拠点形成による生活サービス確保
- ④ 持続可能な交通ネットワークの構築
- ⑤ 里山・里海における農林水産業の再生

#### ◆周防大島町定住促進協議会

官民が連携・協力してUJIターナー者情報提供するワンストップサービス拠点と提供する各種制度

- 定住前に一泊二日の島暮らし～島時々半島ツアー～
- 周防大島お試し暮らし制度「島暮ら荘」
- 若者定住支援「無料島人紹介所」
- ファイナンシャルプランナーによる無料相談窓口
- その他 無料職業紹介所、空き家バンク など

定住前に一泊二日 瀬戸内の島暮らし体験

**島とき半島ツアー2015**

JR 山陽本線 大島駅 から橋を渡れば2分で島暮らし  
里山資本主義でおなじみ山口県周防大島  
生涯元気な過疎の島 2年連続の転入増!!

2015年1月10日（土）～11日（日）  
ツアー料金（1泊3食付）9,800円 ※おひとりごき専用プラン  
or 14,800円 ※おひとりごき専用プラン

出典：周防大島町定住促進協議会HP



「島暮ら荘」  
出典：山口きららめーる  
（山口県メールマガジン）

周防大島UJIターナーを応援する会



#### ◆神石高原町道の駅「さんわ182ステーション」と(株)ローソンの社会との共生実現に向けた取組み。

- 限界集落における店舗運営・移動販売
- 高齢者世帯の安否確認サービス など



「やまびこローソン神石高原町店」

高齢化社会における買い物弱者対策として、「限界集落における店舗運営・移動販売」を実施するとともに、高齢者世帯に声掛けする「安否確認サービス」も併せて実施している。

#### ◆真庭市 真庭バイオマス産業都市構想

- 真庭バイオマス発電事業
- 木質バイオマスリファイナリー事業
- 有機廃棄物資源化事業
- 産業観光拡大事業



真庭バイオマス産業都市構想概要

「自然」、「連携」、「交流」、「循環」、「協働」の5つのキーワードを掲げ、木質バイオマスの利活用を核として、豊富で多様なバイオマスのマテリアル・エネルギー利用、バイオマス産業観光・学習推進による地域ブランドの向上などを目指す。



# 4. 圏域整備の基本戦略とプロジェクト

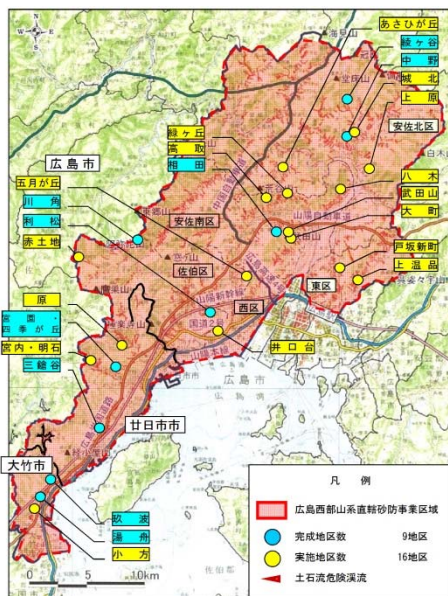
## 基本戦略（4）土砂災害などの災害対策と強靱な圏域整備による安全・安心の推進

治水対策、土砂災害対策、高潮対策などの災害対策を進めるとともに、南海トラフ巨大地震などの巨大災害に備えた地域防災力の向上や産業の持続のための施設の防護と交通・物流機能の確保などにより、強靱な圏域づくりを進める。

- ① 他圏域のバックアップを含めた災害対策の推進
- ② インフラ老朽化対策の推進
- ③ 強くしなやかな圏域づくり

### ◆広島西部山系直轄砂防事業

広島西部山系は、山裾まで宅地化が進み人口や資産が集中している。また、国道2号・山陽自動車道等の主要な交通網が横断しているなど社会経済的に重要な地域であることや、マサ土と呼ばれる脆弱な地質に覆われていることなどの特徴がある。昔から土砂災害が多い地域で、平成26年8月20日、集中豪雨による大規模な土砂災害が発生。地域社会の安全を確保するための対策の推進。



出典：中国地方整備局資料 直轄砂防事業の実施状況（H25年度末）



出典：中国地方整備局 H26.8豪雨災害（広島市）

### ◆インフラ老朽化対策

#### ●広島県道路メンテナンス会議

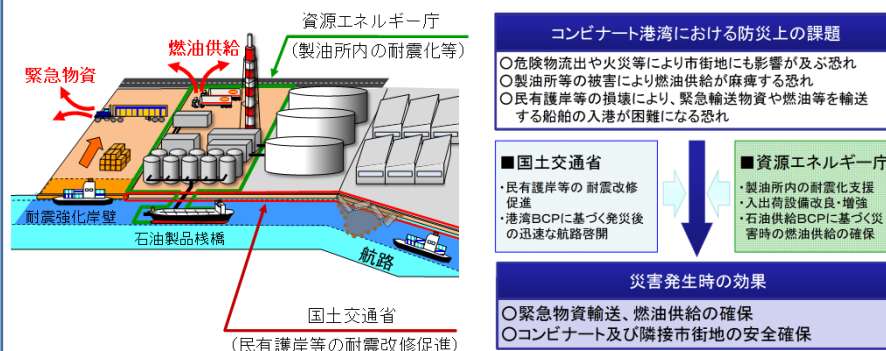
広島県では平成26年6月に「広島県道路メンテナンス会議」を設立。トンネルや橋梁等の道路施設を計画的かつ効率的に維持管理・補修・更新等へ着手。



出典：広島県HP 第1回会議の様子

### ◆コンビナート災害対策の推進

中国地方は、臨海部に数多くのコンビナートを擁し、石油、鉄鋼、化学、木材などの基礎素材型産業や、自動車、造船などの加工組立型産業等、国内屈指の産業集積地である。大規模地震発生時におけるコンビナートの防災・減災を図るとともに、発災後も耐震強化岸壁や石油製品の入出荷設備に至る航路の機能を維持し、緊急物資輸送や燃油供給を確保するため、以下の通り、連携し、コンビナート港湾の強靱化に取り組む。



## 4. 圏域整備の基本戦略とプロジェクト

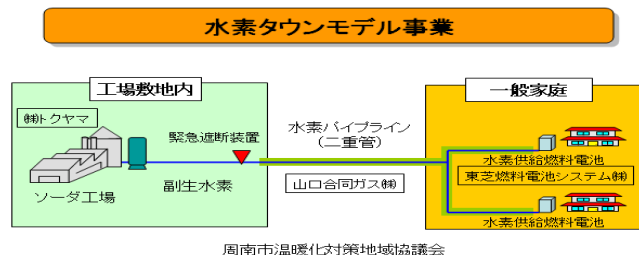
### 基本戦略（5）環境と産業・生活が調和した美しい地域づくり

地球温暖化等の地球規模での環境問題に対応するため、再生可能エネルギー等の利用促進や環境負荷の低減を図るとともに、瀬戸内海等の豊かな自然環境や景観の保全を図ることにより、環境と産業・生活が調和した地域づくりを進める。

- ①低炭素・循環型の地域づくり
- ②瀬戸内海などの豊かな自然環境の保全
- ③美しいまちなみ景観の保全整備

#### ◆周南市水素タウンモデル事業

全国最大規模の水素副生能力を有する周南コンビナートの地域特性を活用し、二酸化炭素を排出しない非改良タイプ固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステム（水素供給燃料電池）を一般家庭に導入することにより、民生家庭部門における二酸化炭素排出量を削減。



周南市温暖化対策地域協議会

出典:周南市HP

#### ◆福山市モビリティ・マネージメント

福山都市圏では、通勤時等のノーマイカー運動（ベスト運動）等でモビリティマネジメントの手法を用いて、環境負荷の少ない交通行動変容を促し、自動車からの温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。



出典:福山市HP 中心部を循環する「まわローズ」



出典:中国地方整備局 ふくやまレンタサイクル

#### ◆宮島、広島湾など美しい海の保全

海面清掃船「おんど2000」により海面を漂流するごみの回収や水質調査（年4回）、底質調査（年1回）や広島湾水質一斉調査を実施。美しい海の保全の取り組んでいる。



出典:中国整備局資料 海面清掃船「おんど2000」



流木を回収する様子

#### ◆竹原市の江戸の町並み保全整備

江戸時代、塩を基盤に酒造業、廻船業などの多角経営により栄えた竹原地区は、昭和57年重要伝統的建造物群保全地区として国から選定されている。これらを活かした町並み保全の取り組みがされている。



出典:竹原市提供



## 4. 圏域整備の基本戦略とプロジェクト

### 基本戦略（6）将来の発展を担う人づくり

産業活動や地域社会を支える人づくりを進めるとともに、女性が安心して社会で活躍していくための、結婚・出産・子育てなどの良好な環境整備や、高齢者も経験を活かし活躍できる圏域づくりを進める。

- ①中国圏ひとづくりプロジェクト
- ②女性活躍社会、高齢者参画社会の実現

#### ◆コンビナート競争力を支える山陽人材育成講座

製造現場における、高度運転・安全能力、緊急時対応能力、リスクマネジメント等を図るための(公社)山陽技術振興会が主体となり山陽人材育成講座を開設。



#### ◆専門工事業者の共同職業訓練校

##### ●職業訓練法人 広島建設アカデミー

広島県内のとび・土工、型枠大工、鉄筋、左官、クレーンなどの建設専門工事業者23社で構成され、「広島県認定」の普通職業訓練短期課程建築基礎躯体工科(392時間)の教育訓練を実施している。会員企業の新入社員研修、工業高校への出張教育にも取り組む。平成25年度修了生を含め776名が修了生として中国地区の建築現場で活躍。



出典:職業訓練法人広島建設アカデミー「平成25年度広島建設アカデミーのご案内」より

#### ◆結婚・子育て支援

##### ●鳥取森の幼稚園

森のようちえんとは、自然体験活動を基軸にした子育て・保育や乳幼児期教育の総称で、国内でも広がりを見せている。鳥取県では全国に先駆け事業支援、現在、通年型の森のようちえんとして5園が活動中。



出典:智頭森のようちえん「まるたんぼう」HPより

##### ●島根子育て応援企業認定(こころカンパニー)

少子化が進行する中で、島根県では「仕事と家庭の調和」と「男女共同参画」の推進により、子育て中の従業員を積極的に支援する企業を「しまね子育て応援企業(こころカンパニー)」に認定。



ロゴ



出典:島根県HP 認定企業のひとつ 島根大学

#### ◆高齢者が活躍する社会

##### ●高齢者の技を活かした児童の健全育成

島根県美郷町では、美郷町高齢者大学卒業生会たちが小学生を対象にした「古き遊びのふれあい道場」を運営している。そこでは、高齢者の子どもの頃の遊び、古きものづくりを伝承し、子どもたちとの世代間交流を図っている。



出典:福祉協議会の歩み